

# 東京理科大学「科目ナンバリング」実施要項

## 1. 科目ナンバリングとは

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みである。

本学では、学系毎に科目分類表を作成することで授業科目を分類するとともに、付番基準に基づき科目番号の付番を行うことで科目ナンバリングを行う。

## 2. 導入の意義

### (1) 本学における教育課程の体系性の理解促進

科目ナンバリングにより各授業科目の教育課程上の位置づけ、履修順序等を明確にすることで、本学における教育課程の体系性の理解促進が期待される。本学が教育課程の体系性等を示すために導入している「科目系統図」「履修モデル」と併せて確認することで、学生が主体的な学修を行うための助けとなる。

### (2) 各学科における学修内容の特色の理解促進

学系毎に科目分類表の作成を行うことで、類似学問系統における学科等の学修内容を比較することができ、各学科等における学修内容の特色の理解促進が期待される。

### (3) 国際通用性のある環境の整備

授業科目の位置づけやレベルが明確になることで、他大学（特に海外大学）との連携や単位互換等の円滑化が期待される。

## 3. 導入時期・対象

- ・ 導入時期 : 2020 年度新入生から  
(2020 年 3 月 31 日以前の入学生については、従前のおりとする。)
- ・ 対象とする学位課程 : 学士課程、修士課程、博士課程、専門職学位課程
- ・ 対象とする授業科目 : 各課程に配置するすべての授業科目  
(卒業（修了）所要単位に含まない授業科目も含む)

## 4. 学系

類似学問系統における付番基準の整合性を担保することを目的に、学部学科、研究科専攻を一定の単位として分類したもの。なお、一般教養科目、教職に関する科目については、それぞれ「教養」、「教職」学系を設定する。

※ 詳細は [別添 1] のとおり。

## 5. 科目分類表

各授業科目を学系内の学科、学年、科目分野別に分類することで、各学系の授業科目、科目ナンバリングの付番内容を一覧の形で分類したもの。

※ 科目分類表の様式は [別添 2] のとおり。

## 6. 付番基準

科目ナンバリングにより付番した番号を「科目番号」と称し、次の構成とする。

(1) 科目番号は 10 桁の数字、アルファベットから構成する。(例：12BBCCC456)

(2) 科目番号は以下の項目から構成する。

①12	②BBCCC	③4	④56
学部学科・研究科専攻 一般教養科目 教職に関する科目	科目分野	科目レベル	通し番号

① 学部学科・研究科専攻、一般教養科目、教職に関する科目

【数字とアルファベットを組み合わせた 2 桁】

⇒ 当該科目の開講学科等の区分を表す。

⇒ 学部学科・研究科専攻：学籍番号の頭文字 2 文字

一般教養科目 : L (Liberal arts) + 数字 (1～4)

教職に関する科目 : T (Teacher education) + 数字 (1)

詳細は [別添 3] の一覧表のとおり。

② 科目分野【アルファベット 5 桁 (大科目分野 2 桁、小科目分野 3 桁)】

⇒ 当該科目の学問分野を表す。

詳細は [別添 4] の一覧表のとおり。

③ 科目レベル【数字 1 桁】

⇒ 当該科目のレベルを表す。

詳細は [別添 5] の一覧表のとおり。

④ 通し番号【数字 2 桁】

⇒ 通し番号については、①学部学科・研究科専攻等、②科目分野、③科目レベルまで付番したカテゴリーの中で重複しないように付番する。

(したがって、①、②、③のいずれかが異なる場合は、重複した通し番号が設定されている場合がある)

## 7. 要項の改廃

この要項の改廃は、東京理科大学教育支援機構会議の議を経て行うものとする。

2019 年 12 月 23 日 教育支援機構会議承認